

北見工業大学

韓国研修報告書

〈目次〉

【学生】

- 1 久保田 早貴 (SAKI KUBOTA) 1
- 2 久保田 真伍 (SHINGO KUBOTA) 2
- 3 杉西 幸恵 (SACHIE SUGINISHI) 3
- 4 吉田 一生 (KAZUKI YOSHIDA) 5
- 5 岡崎 大樹 (TAIKI OKAZAKI) 6

【引率教員】

- 6 鈴木 衛 (MAMORU SUZUKI) 7

【付録】

- 1 プログラム日程 8
- 2 研修に関する基本情報 9
- 3 江原大学教職員名刺 10
- 4 記念写真 11
- 5 研修風景 12

主催大学：大韓民国江原大学校三陟キャンパス

期 間：2012年8月20日（月）～24日（金）

韓国交流研修を終えて

バイオ環境・マテリアル系1年 久保田 早貴

私はこの韓国交流研修に参加して、普段の生活では知れないことをたくさん学ぶことができました。まず、最初にあったキャンパスツアーでは、カンウォン大学校の工学部の設備を見学しました。設備がきれいなのが印象的で、実験の器材も新しいものがそろえられていて、充実していることがわかりました。

次に、交流ワークショップでは各大学で2人ずつ自大学と住んでいる地域について紹介しました。学生の視点から説明してもらうことで、カンウォン大学校のことやサンチョク市についてよくわかりました。

3日目には、サンチョク市を観光しました。歴史的な建造物でドラマの撮影にもつかわれたことのある「竹西樓」を見学したり、レールバイクにのったり、「大金窟」という鍾乳洞を見たりしました。「竹西樓」は自然に囲まれた場所にあり、古い建造物なのに詩なども保存されていてすごかったです。私がこの日一番楽しかったのはレールバイクで、海沿いやトンネルを通るルートを約30分ぐらいかけて走りました。途中で雨が降ったりしましたが、海やトンネルの中の装飾がきれいでとてもよかったです。最後に行った「大金窟」では洞窟の中を見学しました。たくさん歩いたので疲れましたが、鍾乳洞や滝がライトアップされててきれいでした。

4日目は、大学で運営している海洋スポーツセンターでスキューバーダイビングやカヌー、ヨットなどの体験をしました。スキューバーダイビングは難しく最後まで潜ることはできませんでしたが、カヌーやヨットなどは楽しくできました。

このようなことだけではなく、カンウォン大学校の副総長と食事したり、みんなで温泉・サウナに行ったり、自由時間には韓国の学生と交流したりしてとても充実していました。また、本場の韓国料理がとても辛かったのもいい思い出です。

この研修に参加する前は、日本と韓国の歴史や外交問題から不安もありましたが、実際に行ってみると学生も先生方もみんな親切な人ばかりで安心しました。友達もたくさんできたので、また韓国に行ってみたいと思っています。

江原大学訪問に行ってきた

電気電子工学科 2年 久保田 真伍

8月20日～25日まで北見工業大学の提携校である韓国の江原大学サンチョクキャンパスに訪問してきました。韓国の仁川空港から通訳の学生が2人と学校の先生がお迎えに来てくれていました。朝早く起きて迎えに来てくれたことに感動しました。今回の訪問では韓国の学生が通訳として常に一緒にいてくれて通訳してくれました。それから、北見工業大学に興味をもって留学を考えている工学部の学生の3人の男の子とも一緒に過ごしました。価値観の違いや言語の違いで衝突することもありましたが、毎回ご飯を一緒に食べたり、ゲームしたり、いろんな体験をともにすることで仲良くなれたと思います。日本に帰ってきてからも連絡をとったりしています。

僕が今回この江原大学サンチョクキャンパスの訪問をして一番驚いたのは、江原大学の援助でした。僕が今回韓国で両替したのはたったの2万円でした。おもにお土産代でした。なんとサンチョクにいる間の宿泊代から食費、移動のバスから観光費までもが大学が負担してくれました。韓国の料理は美味しいものばかりで毎回がごちそうでした。海鮮鍋やサムギョプサル、プルコギ、サムゲタン、キムチ、白いキムチ、スンドゥブ、ビビンバ、チヂミなど食べました。韓国といえばとても辛い食事というイメージがありますが辛い食事もあり助かりました。辛い食事には舌に痛みが残るぐらい辛いのもありました。

僕はこの5日間の韓国研修で行ったなかで初めての体験がほとんどでした。3日目にサンチョクの観光、4日目に海洋スポーツ体験を行いました。サムチョククの観光ではレールバイクという4輪の足こぎで進む4人乗りの車で線路の上を進んでいくというもので皆いっぱいこい漕ぎました。海沿いの線路なので海の景色も良く海風も気持ちよく素晴らしかったです。鍾乳洞にも行きました。鍾乳洞に行く際にモノレールに初めて乗りました。鍾乳洞も初めてでしたが何万年もの月日が作り出した幻想的な自然の現象を感じ取れたかなと思いました。ガイドさんも面白く言葉が分からなくても楽しめました。5日目の海洋スポーツ体験ではスキューバーダイビングとカヤックとウィンドウサーフィンを体験しました。スキューバーダイビングは5mのプールで行いましたがとても怖かったです。呼吸を行えるものをつけていたのですが海猿のようにはいかないとおもいました。たかが5mと鷹をくくっていたのですが下につくまでおもったより時間がかかりますし水中ではピルという足かきをつけているため身体は自由には動きませんし水圧で耳も痛くなりますし呼吸器の心配などあり不安でたまりませんでした。今度やるときはもっと余裕をもって臨みたいです。

僕は今回の研修を通じて韓国での留学もいいなと思うようになりました。そしてサンチョクの人の良さや景色の良さも良いと思いました。観光ではこんなにも韓国を楽しめなかったと思います。この研修は大学生活の大切な思い出になりました。

韓国研修

バイオ環境化学科2年 杉西 幸恵

私たちは8月20日から8月25日まで韓国に研修に行ってきました。私がこの研修に参加した理由は去年私はドイツに行き、海外の文化や人に触れることに大変興味をもち、いろんな国に行ってみたいと思ったからです。しかし私は去年のドイツのお金は自分で払うと親と約束したのですがまだ一銭も払っていないという現状がありました。そのため海外にはいきたい！しかしお金がない！という私の悩みをすべて解決してくれていたのがこの韓国研修でした。

この研修では韓国のたくさんの学生と交流することができました。三陟（サンチョク）大学に通っている学生3人と5日間一緒に行動し、またその大学には日本語学科があったため私たちより上手に日本語を話す学生たちと韓国や日本のことについて色々話しました。私が行ったドイツではこのような現地の学生との交流がなかったためとても新鮮で楽しかったです。最後の日、お別れのときには連絡先とかの交換はしたけれどもう会えないかもしれないと思い悲しかったです。でも日本に興味を持ってくれたり日本に行くと言ってくれた人が多かったのでぜひまた会いたいですね。

交流ももちろんですが様々な体験もしてきました。私が一番印象に残っているのはやはりスキューバダイビングです。もともとプールとかで一番得意なのは仰向けになって浮いていることです（泳いでいませんね）。要は全然泳げないのです。そのため不安でしょうがなかったのですが、やってみるととてつもなく面白かったです。最初ひれをつけて泳いだことがなかったのでうまく立えず溺れそうにもなりましたし、慣れない口呼吸で何度も鼻で空気を吸いそうにもなりました。トレーナーの人が息をしないと内臓が破裂するだの耳が詰まった感覚を放っておくと鼓膜が破れるだの脅しに近いような話を聞いてとっても怖かったです。しかしなんとか5M下まで潜って帰ってきたときの達成感は何ものすごいものでした。いつかスキューバーのライセンスを取って海で潜ってみたいです。

また三陟の観光や温泉も大変面白かったです。レールの上を自転車みたいなもので走るレールバイクや鍾乳洞をみにいきました。レールバイクは海やトンネルの中がきれいで常にテンションが上がった気がします。でも4人乗り3台で乗っていて私は先頭のバイクに乗っていたのですが後ろの2台が猛スピードで走ってきて前は一般の人だから逃げるできないし、後ろからは恐ろしい速さで来るので何度か追突されました。バイクを壊されるのではないかと思いました。鍾乳洞はモノレールみたいなもので洞窟まで行きそこからは神秘の世界でした。私は前に鍾乳洞を見たことがあったのですがそれ以上に美しかったです。また現地の人とその美しさを自然のままの形で残していこうという配慮も見られたので大切なことだと感じました。

私がこのように海外に行くとき必ず絶対行ってほしいといろんな人に宣伝します。これはもちろん自分が楽しかったというのがありますが、なにより自分が体感したように世界に

興味をもち、いろんなことを感じてほしいと思うからです。一度海外に行くと絶対また行きたいと思うようになりいろんな国に興味がわいてきます。またこれは私だけかもしれませんが一度行った国には親近感がわきテレビとかで放送されているとうれしくなります。そして教科書とかにのっているところに自分がいるということにとっても感動します。今回は周りの人が日本語がわかる人が多かったためあんまり不自由なく生活することができましたが、それでも買い物ときや観光のときにはやっぱり言葉を知っておきたいなと思いました。そのようにたくさんの人にいろんなところに感動していろんなことを感じてほしいと思います。

韓国短期交流研修を終えて

バイオ環境化学科2年 吉田 一生

韓国はどんな国で韓国人はどんな人なのかを自分の目で見てみたかったこと、もう一つは在学中に色々な経験をしてみようと思い、この交流研修に参加しました。私はもともと内気な性格で、あまり活発な人間ではありません。海外での研修に参加するなど、昔の自分には想像もつかないことだと思います。私の学科には韓国から来た留学生がいて一緒に実験などを行っているうちに仲良くなりました。私にとって彼はよく笑う、明るいやさしい人であるように感じました。彼に会うまで、韓国にはあまりよい印象を持っていませんでした。日本では韓流ブームが来るほどの人気がありましたが、歴史的に反日感情を強く持つ国だと思っていました。しかしなぜ、日本に留学に来るのでしょうか。私の韓国に対するイメージと彼のイメージの違いに、本当はどうなのだろうと疑問に思い韓国に興味を持ちました。また、私の友達が海外に興味を持っていたので、それに影響されたこともあります。

私が研修中に一番強く感じたのは、どんな国に住んでいても人間性が大切であると感じました。歴史の認識など確かに違うことは確かにたくさんありますが、大きく考えて韓国人と私たち日本人を隔てているものは、互いの使う違う言葉であり、言葉という壁をなくせば人間同士の関係になります。外国人だからとか、日本人ではないからとか、そういうことではないのだなと感じました。大学のバスの運転手さんはカタコトの韓国語で挨拶しても笑顔で挨拶してくれていました。日本語に通訳してくれた学生の方々は、一生懸命に色々なことを日本語で伝えてくれました。研修中ずっと日本語を勉強していた学生もいました。部屋のホワイトボードには英語と日本語がたくさん書かれていました。何かに対する一生懸命さは魅力的に見えました。明るさや笑顔は言葉が通じなくても私を楽しくさせてくれました。それは日本で生活していても同じことが言えると思います。普段の生活がそのまま現れるなら外国や外国人にそこまで違和感を持つ必要はないとも思いました。こういう街もあるのかと、こういう人もいるのかと受け入れればいいと思います。私はただ色々な人の一人であるだけであるとも思いました。ただ外国の人たちには、私たちを見て「日本人」を理解するのもかもしれません。集団行動や人の話を聞くことは日本人だからというわけではないですが、その意識は欠けていたと思うので、また機会がある時はそういうことを意識していこうと思います。

ただ、こんなにも海外が楽しいものとは思いませんでした。そう思わせてくれたのは、今回出会った方々のおかげなので、本当によくして頂いたと思います。江原(カンウォン)大学のイ先生や学生のみなさんにはとても感謝しています。これからは、自分にとって少しだけ難しいことに挑戦出来るようにがんばっていきたいと思います。

韓国研修

機械工学専攻1年 岡崎 大樹

はじめに私がこの研修に参加した理由は、以前から自分の育った国とは違う環境である海外に興味があったので時間のある学生のうちに他の国に行ってみたかったというものと、また韓国を選んだ理由は自分の所属する研究室に韓国からの留学生が来ていて彼の国の話を聞いていたことが挙げられます。それでは、ここから韓国で体験したことを述べていきたいと思います。

まず韓国に着いて最初の食事はさっそく韓国料理ビビンパを注文しました。日本で食べるものより辛かったのですが、味付けは良かったのでおいしく食べることが出来ました。ですが他の人が注文したチゲなどのスープ類はすごく辛くむしろ舌が痛いくらいで、自分では完食は無理だと思うほどでした。その日の夕食に食べた日本式とは違うしゃぶしゃぶはライスペーパーに好きな具材を包むという少し変わった食べ方で、辛くなく安心しておいしく食べることが出来ました。次の日からはサンチョクを見て回り、キャンパスも案内してもらい、研究室や実験装置などを見せていただいた中で日本製の装置が何台もあり日本の技術が海外でも信頼されている実感がわきました。副学長との面会と食事の際には韓国語での自己紹介を求められ、前日の夜に日本語を勉強しているサンチョクの学生と練習した成果もあり、かたことながら話すことが出来ました。その後日本語を勉強している学生たちと自分たちによるお互いの街や大学紹介の交流会ではより多くの学生と話すことができ、楽しかった反面自分の語学能力の低さも実感しました。サンチョク市ツアーでレールバイクに乗り、その頃にはむこうの学生とも大分打ち解けあっていたのでふざけ合いながら楽しむことが出来ました。その後、鍾乳洞にも行き初めて見た鍾乳洞は幻想的な空間で感動しました。サンチョクにいる最後の日には海洋スポーツセンターに行ってマリンスポーツを体験しました。テレビで見たことしかないスキューバは以前からやってみたかったのでとても楽しみでしたが、実際にやってみると想像しているよりも動きづらくまた慣れるまでは呼吸もしづらく最初の内は恐怖の方が勝っていました。少し慣れてくると、息継ぎをするために水中から出る必要もなくゆっくりと水中にいられることに楽しさを見つけることが出来ました。他に体験したカヤックではサンチョクの学生とペアになりました。そのときにコミュニケーションを取る方法としてお互い多少は分かる共通語である英語の便利さに気付きました。最後に行ったソウルでは古くに政治がおこなわれていた建物や宮廷料理など韓国の歴史に触れることが出来ました。

今回の研修では初めてのことが多くまた、言葉は完璧に話せなくともジェスチャーを加えればなんとか通じるということも分かり、自分にとっていい経験になり、初めての海外が楽しいものになりとてもいい思い出になりました。ぜひ機会があれば他の国にも行ってみたいと思います。

韓国研修の引率を終えて

国際交流センター特任講師 鈴木衛

この度、急遽末繁先生に代わり韓国研修の引率を担当いたしました国際交流センターの鈴木でございます。韓国には2001年3月に仁川空港が開港した際に降りたのが最後で、その後約11年間なかなか行く機会がありませんでした。今回、江原大学三陟キャンパスの招待により本研修に参加でき、私自身も非常にうれしく思っております。

さて、本研修は上述の通り、先方大学の招待という形で実施されました。本学と江原大学とは1996年2月に国際交流協定締結を行い、その後大学の再編に伴い、同大学三陟キャンパスと2006年3月に再度協定を締結し直しております。毎年、本学へは特別聴講生（短期留学）として3名の学生を派遣していただき、更には教職員同士の交流も活発に行っており、数ある協定校の中でも非常に密接な関係を築いている大学です。また、短期留学を終えた学生が、本学の修士課程、博士課程に入学している実績もあり、国際化の観点からも先方大学からの留学生の受入れは本学といたしましても非常に重要であると考えております。このように、非常に関係の深い両校ではありますが、本学から先方大学への日本人学生の留学が未だ実現しておらず、今後の留学への足掛かりになればとのご厚意があり、本研修が実現しました。

江原大学三陟キャンパスは、ソウルから東へ280キロ走った三陟市に位置し、大学からは日本海（東海）を眺望することもできました。今回は、8月の下旬に訪れたということもあり、気温、湿度が共に高かったように記憶しております。しかし、毎日のプログラムの内容が非常に濃く、学生達も一日一日を充実して過ごしていました。日々の研修には、韓国人学生達も行動を共にしてくれたこともあり、学生同士が初日から打ち解け合い、同年代同士の友情が育まれたように思います。また、二日目のプログラムでは、両校の紹介や大学所在地について発表するワークショップもあり、学生達がお互いの話に興味深く耳を傾け、大学の違いや両国の文化について理解を深めていました。また、今回の発表を通じて、本学の学生達も自らの大学や地域、更には日本を改めて見つめ直すことができたのではないかと思います。私自身も、学生達と同じ時間を過ごすことにより、15年前に戻ったような感覚に陥りました。やはり、いつの時代も「人対人」の関係は非常に重要であり、それを通じて相互理解が深まるのだと改めて認識させられました。

最後に、本研修がこのように充実したものになりましたのも、全ては江原大学三陟キャンパス、チョン・ドーヨン副学長をはじめとし、多くの教職員の方々の厚いもてなしと受入れがあったからこそだと思います。北見工業大学を代表し、厚く御礼申し上げます。また、本学の博士課程を卒業し、現在三陟キャンパスで教鞭を執られております金相一教授、更には、今回の研修プログラムの責任者であり、毎日研修に付き添ってくださったイ・スンヒ先生には、この上ない感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

付録1 「プログラム日程（8.20～8.24）」

月 日	内容	場所	備考
8.20(月)	12:00 仁川国際空港迎え(韓国到着)	仁川	
	13:00 昼食	高速 SA	
	18:00 夕食	高速 SA	
	19:00 大学到着(寮の部屋案内)	寮(ヘソル館)	
8.21(火)	8:00～9:00 起床、朝食	寮	本部および 学科関連者 参加
	10:00～11:00 キャンパスツアー	キャンパス内	
	11:00～12:00 副総長接見	総長室	
	12:00～14:00 副総長と昼食	クンダジョン	
	15:00～17:00 交流ワークショップ (大学別2名発表)	講義棟	
	18:00～19:00 夕食	市内飲食店	
	19:00 休憩	寮	
8.22(水)	8:00～9:00 起床、朝食	寮	
	9:00～サンチョクシティーツアー(チュクソル→ レールバイク→昼食→デグム窟→夕食→休憩)	サンチョク館内	
8.23(木)	7:00～9:00 起床、朝食	海洋スポーツ センター	
	9:00～海洋スポーツ体験(昼食含む) (ヨット、レフティング、ウィンドウサーフィン、 カヤックなど)		
	18:00～夕食		
8.24(金)	ソウルのホテルへ出発	サンチョク→ ソウル	

*日程は予定であり、事情によって変更する場合があります。

すべての移動は大学の専用バスにて移動します。

付録2 「研修に関する基本情報」

江原大学校(サンチョクキャンパス)姉妹大学学術文化交流プログラムに参加していただく皆さんにお礼を申し上げます。韓国入国する前準備しておくことを以下のようにお願い致します。

*入国関連

期間：2012.8.20(月)～24(金)(4泊5日間)

入・出国時送迎致します。

*江原大学校援助内容

招待期間内滞在費負担：宿泊(2人1室)、食費(3食)、移動時の車両、観光料

*準備物

4泊5日間動きやすい服(パジャマ、下着)(気温25～30℃)

洗面道具(石鹸、シャンプーなど、歯ブラシなど)

海水浴用品(半そで、半ズボン、水着、スリッパ、日焼け止めクリーム、帽子、サングラスなど) 個人非常薬

*寮内施設案内

2011年新築のもので室内が綺麗です。有無線インターネット使用可能。
有料洗濯機利用可能。



付録4 「記念写真（2012年8月21日）」



付録5 「研修風景」





KITAMI
Institute of Technology

北見工業大学国際交流センター ©2012
〒090-8507 北見市公園町 165 番地
TEL: 0157-26-9370
E-mail: kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp